

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】 令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	子ども支援課担当課長 関沢 勝也	
こども-08	子育て支援施設等整備事業	☒ 自治事務	主管課	こども支援課
重点事業		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て環境の整備

1 事業の目的

対象	子育て家庭等			
意図	複合施設として「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つの機能を導入することにより、相乗効果を創出し、相互の機能を高めるため。			
効果	子育て環境のより一層の充実を図ることができるとともに、市民活動の場を拡充することにより、多世代の幅広い交流を通じ、多様化する子育て支援への対応をすることができる。			

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

岡本二丁目用地活用基本計画の見直しに向けた事前検討を行った。				

事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	岡本二丁目用地活用事業	岡本二丁目用地を活用した複合施設の機能に関する検討	進捗率(%)	0% /	0%	15%	
				0 /	0	2,916	
		財源内訳	国県支出金	0 /	0		
			地方債	0 /	0		
			その他特定財源	0 /	0		
			一般財源	0 /	0	2,916	
			事業費の合計(千円)	0 /	0	2,916	
		人件費(千円)			0	7,793	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-1 今後、市民等との協働による事業を検討すべき事業がある
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
平成27年に策定した岡本二丁目用地活用基本計画の更新を見据え、時勢やニーズ等の必要なデータ収集及び基礎調査業務を行う。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	岡本二丁目用地活用事業						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
子育て環境等のより一層の充実のため、岡本二丁目用地活用を通じて、「子ども子育て支援機能」「市民活動支援機能」「交流機能」を有する複合施設を建設する。	目標値					15.0	30.0	
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--